

令和6年度 第1回 長崎市行政改革審議会 議事録

日時：令和6年8月27日（火）13:30～15:15

場所：長崎市役所 11 階中会議室

議題：次期行政経営プランの策定について

1 報告事項

- (1) 現行政経営プランの取組状況
- (2) エンゲージメント調査結果

2 審議事項

- (1) 次期行政経営プランの策定スケジュール
- (2) 次期行政経営プランの方向性

・「IoT や AI を活用して効率化を進めても、職員の意識が変わらなければ行政サービスの質が低下し、非効率な業務が増える」との意見があった。

・「若い職員の意識向上に重点を置きながら、効率的な調査や改革を進めるべき」との意見があった。

・事務局は、求められる職員像や役割、能力などを現在策定中の人事戦略に明示し、全職員への浸透を通じて職員の能力向上を図る旨回答した。

・「DX は単なるデジタル化ではなく、現場課題解決の手段であるべき」との意見があった。

・事務局は、行財政改革における DX は、職員でしかできないような仕事に注力していけるよう、デジタルを有効活用し、業務に変革を促す旨回答した。

・専門人材の育成や外部人材の活用について意見があった。

・事務局は、外部人材を活用した人材育成や人事交流などを行いながら職員全体の底上げを図っていききたい旨回答した。

・「人口の減少率に対し、職員数の削減率が低いのではないかと。DX や外部委託を進め、職員が少数精鋭で非定型業務などに対応していくのであれば、もう少し削減の余地があるのではないかと。」との意見があった。

・事務局は、他市の平均値を参考にしながら、長崎市特有の要素を加味し、目標設定しているが、DX や外部委託などの進め方を見ながら、最終目標について、必要に応じて修正を行う旨回答した。

・「人員の基本目標にしても漠然としており、本質や目標の想定が見えにくいため、資料をもう少し具体化してほしい」との意見があった。

・「検証しやすくなるよう、可能な限り、定量評価を行える、KPI の設定をしていただきたい」との意見があった。